



めざせ! やさしさ日本代表!

かわさきパラマウント

今年度の主な取組について①

1 「サッカー&ユニバーサルツーリズム」

実施目的

見た目ではわかりにくいことなどから、周囲から誤解を受けやすいと言われている発達障害に対する理解の促進や、誰もがスポーツや旅行が楽しめる社会の実現を目指す。

⇒かわさきパラマウントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち

実施概要

さまざまな音や光への対応に悩みを抱える「感覚過敏」を特徴とする発達障害児が安心してサッカーの試合を観戦できるよう、スタジアム内に「センサリールーム」を設置し、研修等事前に感覚過敏の特性を学んだスタッフを配備。

参加される方の移動に際して、飛行機におけるユニバーサルマナー検定の資格を持った客室乗務員の配備や専用バスの手配、経験のあるスタッフの同行など、各種サポートを実施。

センサリールームとは?

発達障害による感覚過敏により、大観衆の人混みや大音量の歓声への対応に悩みを抱える子どもたちでも安心して観戦できるよう、音や光を軽減するとともに、感情やストレスが高まった時に落ち着くための場所（カームダウンスペース）を設置した特別エリア。

スポーツ観戦における設置

国内で初



センサリールームでの観戦の様子



カームダウンスペースの様子

【第1回】

日時：2019年7月27日（土）～28日（日）

場所：27日～等々力陸上競技場
川崎フロンターレ 対 大分トリニータ
28日～麻生グラウンド（サッカー教室）

参加者：川崎：17組44名、大分：3組9名

【第2回】

日時：2019年10月19日（土）～20日（日）

場所：19日～パナソニックスタジアム吹田
ガンバ大阪 対 川崎フロンターレ
20日～大阪府内（観光）

参加者：川崎市：1組2名、大阪：2組8名

参加者の声（抜粋）

- ・今までは、発達障害のせいでは何か起こってしまわないかと気になり、のびのび楽しむことができませんでしたが、同じ悩みをもつ参加者など理解ある方々ばかりだったので、本当に心から楽しめました。
- ・はじめての場所や事柄がとても苦手で、サッカー観戦をしようと思ったこともなかったのですが、たくさんの方々がわが子の困難を応援してくださり、勇気をもらいました。

2 クワイエットアワー

商業施設における取組

国内で初

実施目的

見た目ではわかりにくいことなどから、周囲から誤解を受けやすいと言われている発達障害に対する理解の促進や、誰もが安心して買い物に行ける環境の実現を目指す。

⇒レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～の形成へ

実施概要

さまざまな音や光への対応に悩みを抱える「感覚過敏」を特徴とする発達障害者が安心して商業施設で買い物ができるよう、試験的に施設内の音や光を緩和する時間（クワイエットアワー）を設定。

実施日時：2019年7月28日（日）9:00～10:00

実施場所：イオンスタイル新百合ヶ丘 1階食料品・日用品売り場

実施内容：照明を通常時より2～5割程度緩和するとともに、店内BGMのカット（緊急時除く）やレジスキヤンの音量緩和を実施。また、カームダウンスペースをフロア内に設置。

3 心のバリアフリーに関する研修

実施目的

職員一人ひとりが心のバリアフリーについて掘り下げ、自分のこととして考えることで、庁内におけるかわさきパラマウントの理念を浸透させる。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～の形成へ

実施概要

副市長及び局長級職員を対象として、「心のバリアフリー」を体現するための「障害の社会モデル」の理解や「合理的配慮の提供」の考え方などについての研修を実施。

実施日時：2019年8月20日（火）9:30～12:00

実施場所：川崎市役所第3庁舎18階講堂

実施内容：クイズ形式でのグループワークと、講師による講義



研修の様子

今後の予定

窓口での対応が多い部署の職員や施設管理者等を対象とした「ユニバーサルマナー検定」を2020年1～2月に実施する予定。

4 タブレットを活用した通訳事業

実施目的

区役所窓口での各種手続きや相談等について、タブレットを活用して通訳者と繋ぐことで、誰もが同じサービスを楽しむことができる環境を目指す。

⇒レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～の形成へ

タブレット設置場所：市内7区役所及び2支所に各3台（計27台）

外国語通訳：2019年4月1日開始（12か国語対応）

※ 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語など

手話通訳：2019年10月1日開始

※ 本格実施に向けた問題点抽出やニーズ調査を目的とした試行導入



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

今年度の主な取組について②

5 商店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業

実施目的

サポートを必要とする障害者等の利用者への利便性向上を図るとともに、「かわさきパラムーブメント」の認知度を上げ一層のムーブメントを起こしていくことや、市内の商店舗及び利用者の方それぞれが「めざせ！やさしさ日本代表！」を担う一員であることを理解していただくことで、障害のある人などが生き生きと暮らせるまちづくりを目指す。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

実施概要

市内の商店舗等が、「かわさきパラムーブメント」のロゴステッカーを店頭で掲出することでハード面又はソフト面のバリアフリー接遇が可能な旨を発信する。

今年度登録店舗

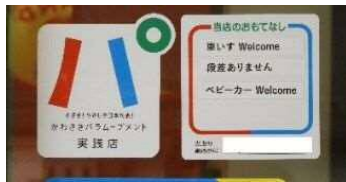
17店舗（11月20日現在、計584店舗）

店舗内訳

デニーズ、きらぼし銀行 ほか

今後の予定

さらに掲出店舗を増やすために、商店街やチェーン店等へのアプローチを継続する。



ステッカー

6 インクルーシブなかわさきハロウィン開催の支援

実施目的

「かわさきパラムーブメント」の考え方を「カワサキハロウィン」に取り入れダイバーシティへの取組を進める。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑦誰もが職業等を通じて社会参加できる環境

実施概要

【車いす利用者のパレード参加】

「かわさきパラムーブメント」の考え方を「カワサキハロウィン」に取り入れ、車いす利用者がパレードに参加。かわさき基準（KIS）認証福祉製品である「次世代型電動車いす」WHILL（ウィル）・「足こぎ車いす」COGY（コギー）に加えて、今年は「折りたたみ式ハンドル型電動カート」Luggie（ラギー）を利用したパレードも実施。

【ピープルデザイン川崎プロジェクト】

本市と包括協定を締結しているNPO法人ピープルデザイン研究所の協力により、「かわさきパラムーブメント」の取組の一環として、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加できるカワサキハロウィンパレードを実施。

開催日：2019年10月26日（土）、27日（日）

開催場所：川崎駅周辺

参加者：10月26日 ランウェイ3組6名（ベビーバギー3組）

10月27日 パレード（車いすユーザー）54名（うち付き添い34名）

ダウン症ダンスチーム 52名（うち付き添い27名）



7 プリティッシュ・カウンシルとの連携事業

【フォーラム：孤立や生きづらさへのアプローチ：日本と英国の文化芸術の実践から】

実施目的

「孤立」や「生きづらさ」といった社会課題にアプローチする上で、文化芸術の持つ可能性に対する理解を深めるとともに、社会的に孤立した人々に対する市民の偏見や心理的バリアを解消し、誰もが文化芸術に親しめる街を目指し、かわさきパラムーブメントをさらに推進していく。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

レガシー⑦誰もが職業等を通じて社会参加できる環境

実施概要

少子高齢化や地域社会の関係希薄等を起因とする「孤立」という課題に対して、オペラや音楽を通してホームレス支援を行っている英国のアート団体「ストリートワイズ・オペラ」ほか日英で先駆的な取り組みを行っている専門家を招いたフォーラムを開催し、現状の課題を共有するとともに、日英の具体的な取り組みを紹介し、文化芸術からのアプローチについて議論を深めた。

開催日時：2019年8月16日（金）15:00～18:00

開催場所：ミューザ川崎シンフォニーホール 市民交流室

参加者：芸術団体、福祉団体、市職員等約100名



© プリティッシュ・カウンシル

8 Colors かわさき展

実施目的

アートを通じて、障害のあるなしに関わらず、作品の魅力を感じ、かわさきパラムーブメントの目指す社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の実現に向けて開催。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

実施概要

市内障害福祉施設・団体等で活躍する50名を超えるアーティストの作品や、市立特別支援学校の児童生徒たちの作品、市立幸高校生徒有志とアーティストとの共同制作作品を展示。

作品の一部は、展覧会終了後に入札により、購入することができる。また、期間中は、アーティストとの「交流会」多様なアートに触れる「ワークショップ」、「障害のある方の絵画活動の指導講演会＆座談会」も開催。

実施期間：2019年11月15日（金）～24日（日）

※巡回展 11月30日（土）

実施場所：ミューザ川崎企画展示室

※巡回展 とどろきアリーナ

来場者数：1,235名（11月24日時点）



会場の様子



幸高校生と障害のあるアーティストが共同制作したアート作品「未来へのメッセージ」

※巡回展 幸区役所(12/9-20) 市役所(1/27-2/6)



めざせ! やさしさ日本代表!

かわさきパラムーブメント

今年度の主な取組について③

9 かわさきパラムーブメント各種イベント

【かわパラ】

開催目的

イベントを通じてパラスポーツや障害への理解促進、かわさきパラムーブメントの理念浸透を図る。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

●かわパラ2019

開催概要

オリンピック・パラリンピアンによるトークショーや、各種ライブ&パフォーマンス、パラスポーツ体験コーナーなど。

また、会場内にやぐらを設置し、オリジナル楽曲である「かわパラ音頭」を踊り、参加者との一体感を生んだ。

開催日時：2019年8月25日（日） 11:00～18:00

開催場所：ラゾーナプラザ川崎ルーファ広場及びプラザソル

参加者数：約26,000名

うちパラスポーツ体験者 約2,000名



かわパラ2019の会場の様子

●かわパラ2019in新百合ヶ丘

開催概要

パラスポーツ体験や障害疑似体験などを実施

開催日時：2019年10月19日（土） 10:00～17:00

20日（日） 10:00～17:00

開催場所：しんゆり交流空間リリオス前

イオンスタイル新百合ヶ丘2階店頭

参加者数：約2,100名

（うちパラスポーツ体験者：約1,600名）



かわパラ2019in新百合ヶ丘の様子

●かわパラ2019in溝の口

開催概要

義肢装具士とパラアスリートによるトークショーや、パラスポーツ体験や障害疑似体験などを実施

開催日時：2019年11月23日（土） 12:00～17:00

開催場所：高津市民館

参加者数：約1,100名

（うちパラスポーツ体験者：約600名）



かわパラ2019in溝の口の様子

【かわさきパラコンサート2019 ～LINK～】

開催目的

誰もが音楽等を楽しめる機会を通じて、お互いを理解・尊重し、誰もがチャレンジする勇気と行動力を育むことを目指す。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

開催概要

音声や点字プログラム、体感音響システムなどを使用して、誰もが楽しめる音楽コンサートを開催。

開催日時：2019年6月1日（日） 14:00～16:00

開催場所：カルッツかわさき

参加者数：約1,600名



コンサートの様子

【参加型アートイベント】

開催目的

絵画制作を通じて、様々な他者と共に楽しみ、協力し合うことで、かわさきパラムーブメントが目指す共生社会の実現につなげていく。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

開催概要

7区をテーマにアートを作成。

完成したアートは2019年12月から2020年9月まで日本医科大学武蔵小杉病院新築工事仮囲い西側（小杉小学校の向かい側）に掲載する予定。

開催日時：2019年10月19日（土）、20日（日） 10:00～17:00

開催場所：しんゆり交流空間リリオス前

参加者数：約200名





めざせ! やさしさ日本代表!

かわさきパラムーブメント

今年度の主な取組について④

10 サイバスロン車いすシリーズ日本2019

開催目的

スイス連邦工科大学チューリヒ (ETH Zurich) 発のプロジェクトで、先端ロボット工学や生物機械工学技術などによって、障がいを持つ人が、日常生活に必要なタスクを競うものです。人をアシストする技術の開発を、障がいのある人たちと一緒に促進すると共に、レース形式をとることで、幅広い層の人々の興味を喚起することを目的とする。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

開催概要

障害者と先端技術の開発者が協力して日常生活に必要な動作に挑む、国際競技大会「サイバスロン」の車いす大会を、サイバスロン車いすシリーズ日本2019実行委員会の主催により、開催。国内から5チーム、海外から3チーム（香港、ロシア、スイス）の合計8チームが出場。

また、翌日には、サイバスロン創設者・ロバート・リーナー教授や研究者によるシンポジウム、前日の車いすレース出場者によるプレゼンテーションを開催。

開催日時

電動車いすレース：2019年5月5日（日）10:00～17:30

シンポジウム：2019年5月6日（月）12:00～19:00

開催場所

電動車いすレース：カルッツかわさき

シンポジウム：KCCIホール

参加者数：約1,500名（2日間総計）

その他：民間企業と連携した、様々な取組を実施
詳細については、別紙参照。



シンポジウムの様子



車いすレースの様子